

# 第3期神照地区地域福祉活動計画

あたたかなつながりが生きるまち神照



2024→2028年

神照地区地域福祉活動計画策定委員会

# 目 次

1. 計画の概要	p. 2
▶神照地区地域福祉活動計画とは（計画の背景）	
▶計画の位置づけ	
2. 計画策定に関わる情報	p. 4
▶第2期計画期間をふり返って	
3. 理念と基本目標	p. 5
▶理念	
▶基本目標1「人と人とのつながりを広める 交流と関係づくり」	
▶基本目標2「つながりを深め、自分の気持ちが出せる居場所づくり」	
▶基本目標3「互いのつながりで支える見守り活動」	
4. 計画の推進方法	p. 9
▶計画の推進方法	
▶計画の推進体制	
▶計画推進に関わる作業概要（日程）	
▶計画推進委員会名簿	
5. 計画策定に関わる資料	p. 1 1
▶地区の福祉データ	
▶アンケート調査結果より	

## 1. 計画の概要

### ▶神照地区地域福祉活動計画とは（計画の背景）

神照地区では、平成28年に「第1期地区地域福祉活動計画」を策定し、さらに平成31年3月には「第2期神照地区地域福祉活動計画」を策定し、「あたたかなつながりが活きるまち神照」をスローガンに様々な活動に取り組み、展開してきました。

しかしながら、この間にも、神照地区においても高齢化率が徐々に増加し、ひとり暮らし高齢者や要介護認定者、しょうがい者など、支援を必要とする人が増加してきています。また、隣近所間のつながりの希薄化や地域活動の担い手の減少など、これまでの計画から継続して取り組む必要性のある課題があります。

また一方で、市内で人口が最も多い地区でもあり急速に高齢化が進んでいる自治会や近年開発された住宅地では、子育て世代が多く居住しており自治会活動へ参画を促すとともに、それぞれのニーズに応える活動展開が望まれています。それに加え新型コロナウイルスの影響などから、生活に困窮している方、ひきこもりなど、地域の中で孤立してしまっている人の課題など、新たな課題も浮かび上がり、国を挙げた「地域共生社会」の推進を図っているところです。

このようなことから、地域福祉をさらに発展的に推進し、かつ新たな課題への対応を図っていくために「第3期神照地区地域福祉活動計画（以下、「第3期計画」という。）」を策定します。

### ▶計画の位置づけ

神照地区地域福祉活動計画は長浜市地域福祉活動計画と連動し「住民参加」による活動・実践と行政や関係機関・団体との「協働」を図りながら、福祉課題の解決を目指し、「住民主体による福祉のまちづくり」を進める計画です。

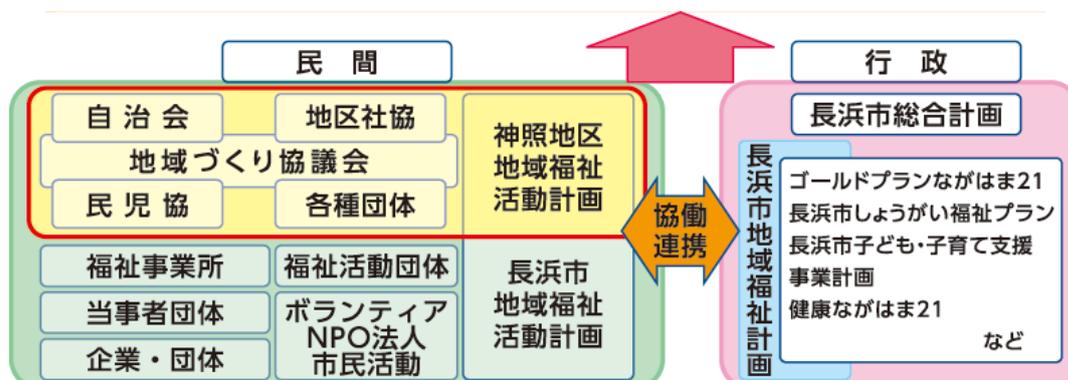
「長浜市地域福祉活動計画」と一体的に策定することで、市域、地区域のエリアによる活動メリットを最大限活かせる活動展開を計画します。

また、長浜市が策定する行政の地域福祉に対する施策計画である「長浜市地域福祉計画」と連携・協働し、地域福祉を推進します。

# 計画の位置づけ

## 基本理念

「多様性を尊重し 地域の絆で ともに育み支えあい 安心して暮らせるまち 長浜」



住民のみなさんの一人一人が互いに協力しながら、子どもから高齢者まで「この地区に住んでいて良かった」と誰もがいえる地域を目指して、神照地区地域づくり協議会の健康福祉部会を中心に計画の推進状況や福祉活動を振り返る場をつくりまします。

## 神照地区地域福祉活動計画の範囲のイメージ



### 住民参加

誰もがその地域でいきいきと自立した生活が送れることを目標に共に支えあい、助けあう地域づくりを住民参加によって目指します。

### 住民主体

地域のさまざまな福祉課題に地域で暮らす「住民が主体的」に関わることを目指します。

### 地域連携

地域福祉活動は、神照地区のさまざまな団体との連携が欠かせません。また、行政や市社協との連携、協働により地域福祉活動を推進します。

## 2. 計画策定に関わる情報

### ▶第2期計画期間をふり返って

#### ▶**基本目標1 「人と人とのつながりを広める 交流と関係づくり」**

##### 【成果】

- ・交流の推進をはかるなかで、コロナウイルスの流行により開催の継続が難しくなりました。コロナ禍でも地域に暮らす高齢者つながり続ける方法を検討し地区のゆかりのある情報や脳トレ・クイズなど同封した「つながる letter」の考案、民生委員・児童委員と連携したつながりづくりをおこないました。
- ・地区でコロナ禍によりフレイル状態にある方が増えていることから、予防の取り組み活動として神照プロジェクトを立ち上げ、地区内サロンに体力測定とフレイル出前講座をおこないました。

##### 【課題】

- ・各種団体の高齢化に伴い担い手不足はますます課題になっています。こうしたなか住民全体で安心して暮らせるまちづくり人材の育成が近年重要になってきました。また、住民同士が気軽に集まり、新たな出会い交流のできる場づくりが求められています。

#### ▶**基本目標2 「互いのつながりで支える 見守り活動」**

##### 【成果】

- ・命のバトン強化月間・福祉委員の委嘱研修を毎年おこない繰り返し見守り活動の必要性と理解を深め研修をおこない現在 27 自治会 262 本取り組みが広がっています。

##### 【課題】

- ・ひきこもり、ヤングケアラーなど、近年様々な問題を抱え孤独・孤立になっている家庭が増加しています。専門職・行政・地域が一带となりの地域の支えあいにより強固になるようつながりづくりが求められています。

#### ▶**基本目標3 「つながりを深め、自分の気持ちが出せる 居場所づくり」**

##### 【成果】

- ・新興住宅が多く、若者世代の移住が多い神照地区において、子育ての不安は大きく、孤立しがちな子育て世帯の支援が求められています。地区で民生委員・児童委員が中心となり赤ちゃん訪問をスタートしました。ほっぺの広場・まゆの広場につなげることで、地域デビューや仲間との出会いの場となっています。
- ・自治会域で行われるサロン活動は、コロナ禍においても継続できるようサロンの必要性を認識し無理なくおこなわれました。また地区では交流会を毎年開催し、横のつながりを作れる仕組みをつくりました。

##### 【課題】

- ・地域で困っていると気軽に相談できる場が求められています。
- ・認知症になっても地域で住み続けられる。温かなまちづくりが求められています。認知症の病気の理解・認知症を支える家族支援が今後必要な課題になっています。

### 3. 理念と基本目標

#### ▶理念

あたたかな つながりが 活きるまち 神照



#### 活動を支えるための3つの基盤

1. 健やかな成長と生活を支援し、安心・安全な地域づくりを目指します。
2. 地域の情報を共有し、互いの活動がつながり支え合う人づくりを目指します。
3. 地域づくり協議会、自治会、民児協、福祉委員、各種団体が連携、協力できるしくみづくりを目指します。

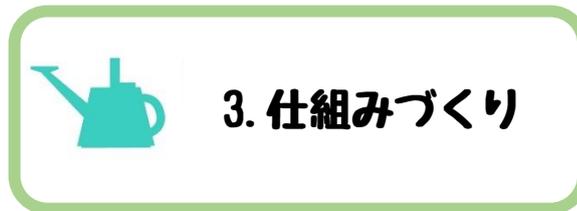
■基本目標1～3の活動の充実、発展を目的とした各種団体等との状況共有やネットワーク化を今後すすめます。また、毎年度の振り返りと発展をもって計画の充実を目指します。



#### 1. 地域づくり



#### 2. 人づくり



#### 3. 仕組みづくり



### 基本目標



#### 1. 交流と関係



#### 2. 見守り



#### 3. 居場所

## ▶基本目標 1 「人と人とのつながりを広める **交流と関係づくり**」

- ・ 健やかな成長と生活を応援します。
- ・ いつまでも安心して暮らせる地域社会を目指します。

**新** 世代間のつながりづくりを応援します。

**新** 外国人との交流の場をつくります。



### 【推進する活動】

- ・ 友愛訪問
- ・ 特別支援学級友愛訪問
- ・ 園児と高齢者とのふれあい交流会
- ・ 人権のつどい
- ・ つながるLetter活動
- ・ 各種団体や専門職との意見交換会【新】
- ・ 多文化交流活動【新】



## ▶基本目標 2 「互いのつながりで支える 見守り活動」

- ・ 隣近所のつながりで気になる人を見守ります。
- ・ 地域で見守り支えあうしくみを推進します。

**新** 災害時に強いまちづくりをめざします。



### 【推進する活動】

- ・ 隣近所のちょっと見守り・気軽な声かけ
- ・ 命のバトン
- ・ 自治会長・民児協・福祉委員による意見交換会
- ・ 福祉委員研修
- ・ 自治会の見守りネットワークの推進
- ・ 災害時を想定した活動に向けた仕組みの検討【新】
- ・ お互いさんの助け合い活動【新】



### ▶基本目標3 「つながりを深め、自分の気持ちが出せる 居場所づくり」

- ・「あの人に会える」ホッとする居場所をつくります。
- ・やりがいをもって活動できる仲間づくりを応援します。

**新** 地域から孤立・孤独を防ぐつながりをつくります。

**新** こどもが健やかに育つまちづくりを目指します。



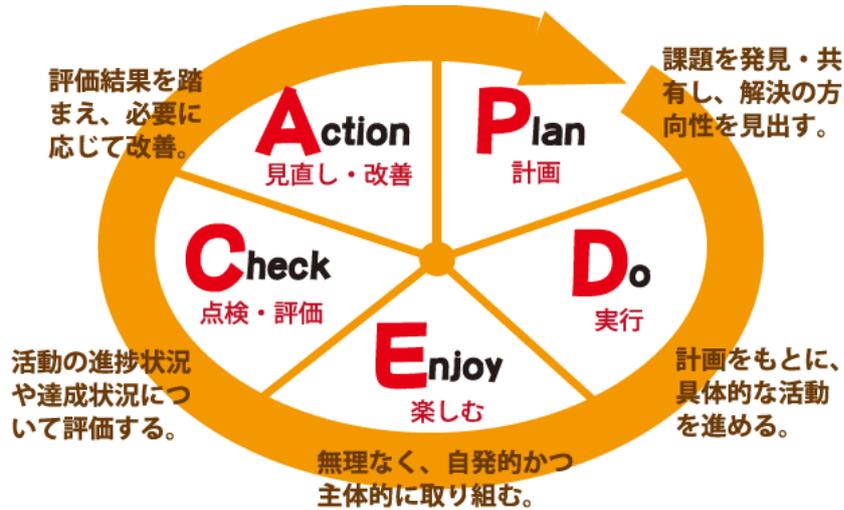
#### 【推進する活動】

- ・サロン活動の推進
- ・ほっぺの広場・まゆの広場
- ・神ゆうくらぶの活動支援
- ・神照プロジェクト活動（フレイル予防 他）
- ・子ども食堂【新】



## 4. 計画の推進方法

### ▶計画の推進方法



### ▶計画の推進体制

神照地区社会福祉協議会を中心に、定期的な活動の推進や進捗管理に取り組みます。

## 5. 計画策定に関わる情報

### ▶計画推進に関わる作業概要（日程）

時期	内容	備考
令和5年5月12日	第1回策定委員会	・第3期計画策定の説明
	アンケート調査	(5/17 依頼)
	アンケート調査	(5/31 回収)
令和5年6月13日	第2回策定委員会	・2期の振り返り ・アンケート結果について
令和5年7月15日	自治会長・民生委員・福祉委員意見交換会	・ヒアリング
令和5年9月5日	第3回策定委員会	・目標・理念について協議
令和5年11月17日	第4回策定委員会	
令和6年1月16日	第5回策定委員会	
令和6年2月13日	第6回策定委員会	

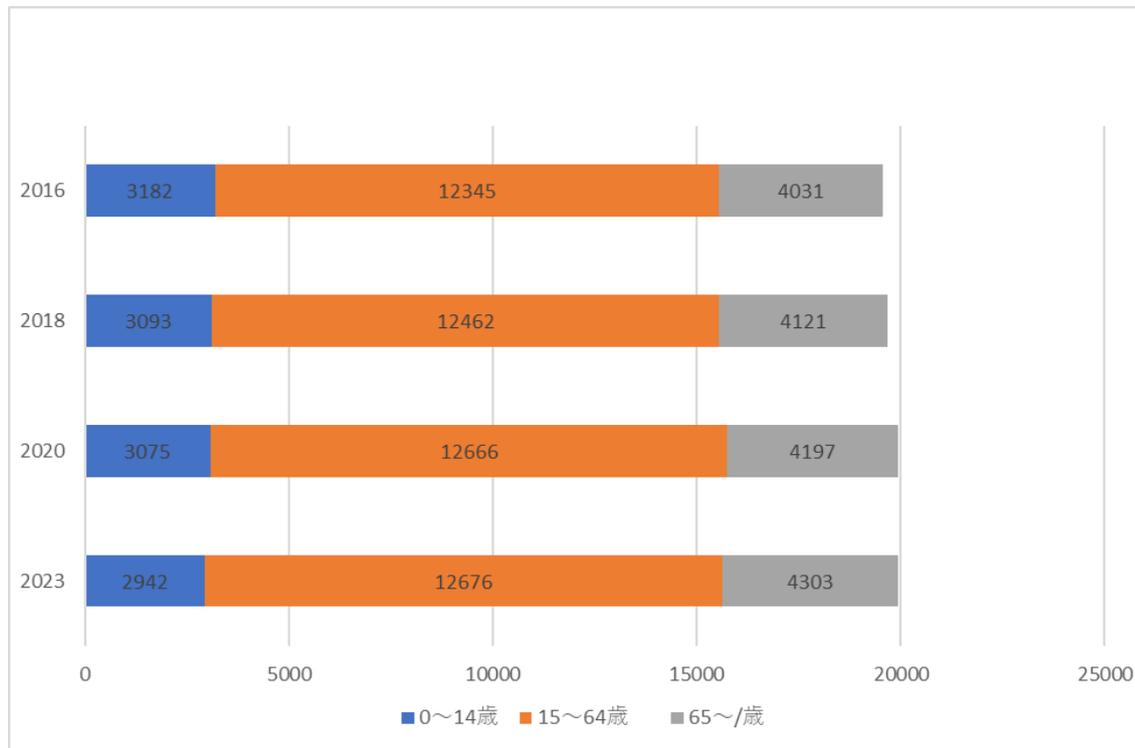
▶計画策定委員会名簿

1	神照地区地域づくり協議会健康福祉部部長 神照地区社会福祉協議会会長	藤田 與史雄
2	神照地区地域づくり協議会健康福祉部副部長 神照地区民生委員児童委員協議会会長	堀 直美
3	神照地区地域づくり協議会健康福祉部副部長	中嶋 重子
4	神照地区地域づくり協議会事務局長	前川 雅昭
5	福祉委員	川島 典子
6	神照地区民生委員児童委員	藪内 久美子
7	神照地区民生委員児童委員	田邊 恒生
8	神照地区更生保護女性会	林 精
9	長浜市神照赤十字奉仕団	石地 昌子
10	健康推進員協議会	鷺 裕子
11	神ゆうくらぶ	室谷 文雄
12	神照連合自治会	松宮 武宏
13	神照郷里地域包括支援センター	岸田 春美
14	長浜市社会福祉協議会	藤田 みどり
15	神照地区地域づくり協議会事務局	岩口 恵美

▶神照地区福祉データ

■神照地区の人口推移

2016年～2023年 長浜市住民基本台帳



■自治会数 : 37自治会

■人口 : 19,902人 R5.10.1現在

0-14才 : 2,914人

15-64才 : 12,651人

65才以上 : 4,337人

■高齢化率 : 21.8%

■介護認定率 : 18.6% R5.4

■特定健診の受診率 : 34.2% (市37.1%) R3

<子育て>

■出生数 R3 : 150人 (市720人)

R2 : 188人 (市802人)

R1 : 194人 (市851人) ※市内No. 1!

■3歳8か月検診ヒアリング

育児を楽しくやっている : 83.8% (市88.0%)

しつけのために叩く : 20.2% (市14.4%)

感情的に怒鳴る : 34.3% (市33.8%)

出典 : ログヘルス R3調査

<成人>

- 特定健診受診率 R3 : 34.2% (市37.1%)  
R2 : 27.3% (市29.4%)  
R1 : 39.9% (市41.1%)
- 国保医療費割合 精神 121,579,050円 (20.71%)  
※市 503,351,000円 (10.33%)
- 普段の睡眠では休養がとれていない 21.4% (市:19.6%)
- 自分自身のうつ病のサインを感じたことがある 26.2% (市:21.7%)
- 悩みやつらい気持ちを相談できる人がいない 19.4% (市:17.9%)
- 長浜市 産後ケア利用者 R4 : 55名  
R3 : 27名
- 命のバトン設置 : 27自治会
- 民生委員 : 30人
- 福祉委員 : 38人
- サロンの数 : 25
- 転倒予防 : 18
- 外国人割合 : 6.62% (市3.42%)
- 高齢者における認知症高齢者割合 : 11.18% (市12.95%)
- 健康意識 : 地域のつながりが強いと思う 46.6% (市:44.3%)

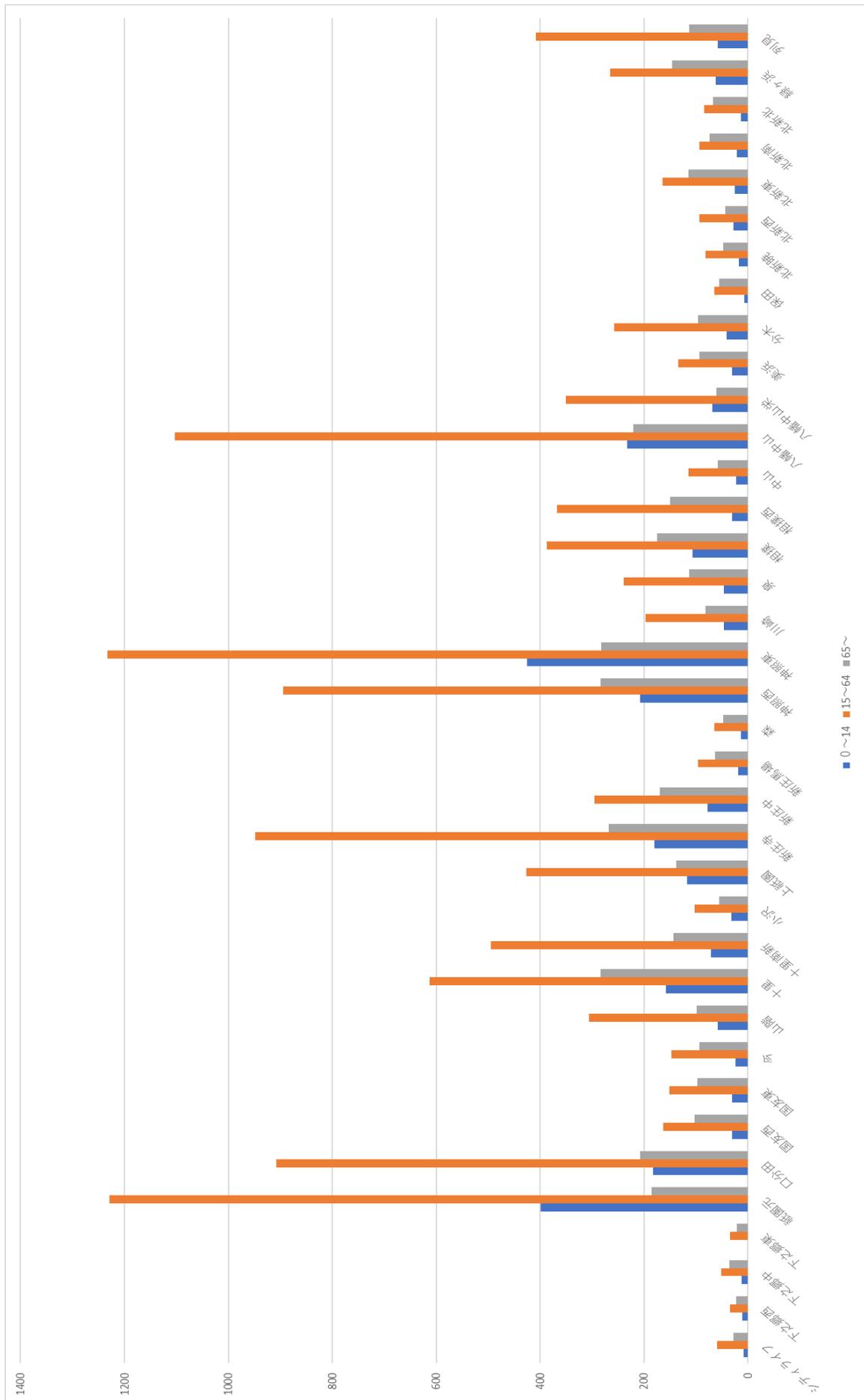
# 自治会別神照人口等データ

令和5年10月1日付データより

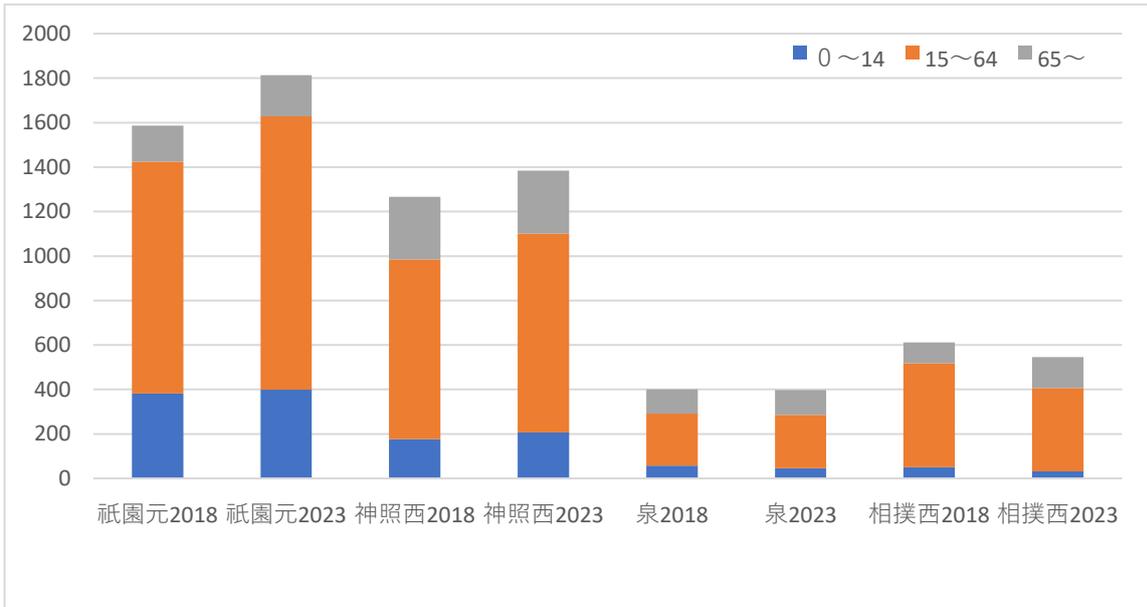
自治会名	全人口	世帯数	年少人口 (0~14歳)	生産年齢人口 (15~64歳)	高齢者人口 (65歳以上)	高齢化率	80歳以上人口	サロン	転倒予防	命のバトン	見守り会
1 川崎	325	154	46	197	82	25.2%	30	○	○	○	
2 山階	463	191	58	306	99	21.4%	24	○		○	
3 口分田	1,297	584	183	907	207	16.0%	77	○		○	○
4 保田	127	46	7	64	56	44.1%	27		○		
5 今	264	92	24	147	93	35.2%	33	○	○	○	
6 国友東	279	101	30	151	98	35.1%	47	○※1	○	○※1	
7 国友西	295	103	30	163	102	34.6%	37	○※1		○※1	
8 泉	398	155	46	239	113	28.4%	45				
9 新庄寺	1,396	570	180	948	268	19.2%	108	○	○	○	
10 新庄中	543	213	78	296	169	31.1%	57	○	○	○	
11 新庄馬場	178	64	19	96	63	35.4%	21	○			
12 小沢	190	62	32	102	56	29.5%	20				
13 下之郷東	56	20	0	34	22	39.3%	14	○		○	
14 下之郷中	99	34	12	51	36	36.4%	10	○	○		○
15 下之郷西	68	26	11	34	23	33.8%	7				
16 森	127	47	14	65	48	37.8%	19			○	
17 相撲	668	248	106	387	175	26.2%	64			○	
18 相撲西	548	216	31	367	150	27.4%	19	○		○	
19 美浜	258	109	31	134	93	36.0%	26	○			
20 緑ヶ浜	473	190	62	265	146	30.9%	34	○		○	
21 上祇園	682	277	117	427	138	20.2%	54	○	○	○	
22 祇園元	1,813	667	399	1,229	185	10.2%	55	○	○	○	○
23 列見	579	267	58	408	113	19.5%	41	○	○	○	
24 十里	1,054	432	158	612	284	26.9%	93	○	○	○	
25 神照東	1,940	758	425	1,233	282	14.5%	102	○※2		○	
26 シティライフ	95	58	8	59	28	29.5%	8				
27 神照西	1,384	593	207	894	283	20.4%	95	○※2		○	
28 北新東	304	144	25	164	115	37.8%	54	○	○	○	
29 北新西	165	78	28	93	44	26.7%	11	○		○	
30 北新南	189	97	22	93	74	39.2%	32		○	○	
31 北新北	165	66	14	84	67	40.6%	44	○	○	○	
32 北新暁	147	63	18	82	47	32.0%	17				
33 八幡中山	1,555	782	232	1,103	220	14.1%	75	○	○	○	○
34 中山	196	94	23	115	58	29.6%	23		○	○	
35 分木	394	216	41	257	96	24.4%	37	○	○	○	
36 八幡中山栄	479	247	68	350	61	12.7%	19				
37 十里南新	709	287	71	495	143	20.2%	36	○	○	○	
神照地区	19,902	8,351	2,914	12,651	4,337	21.8%	1,515	24	18	27	4

※1:東西で合同開催

b ※2:東西で合算

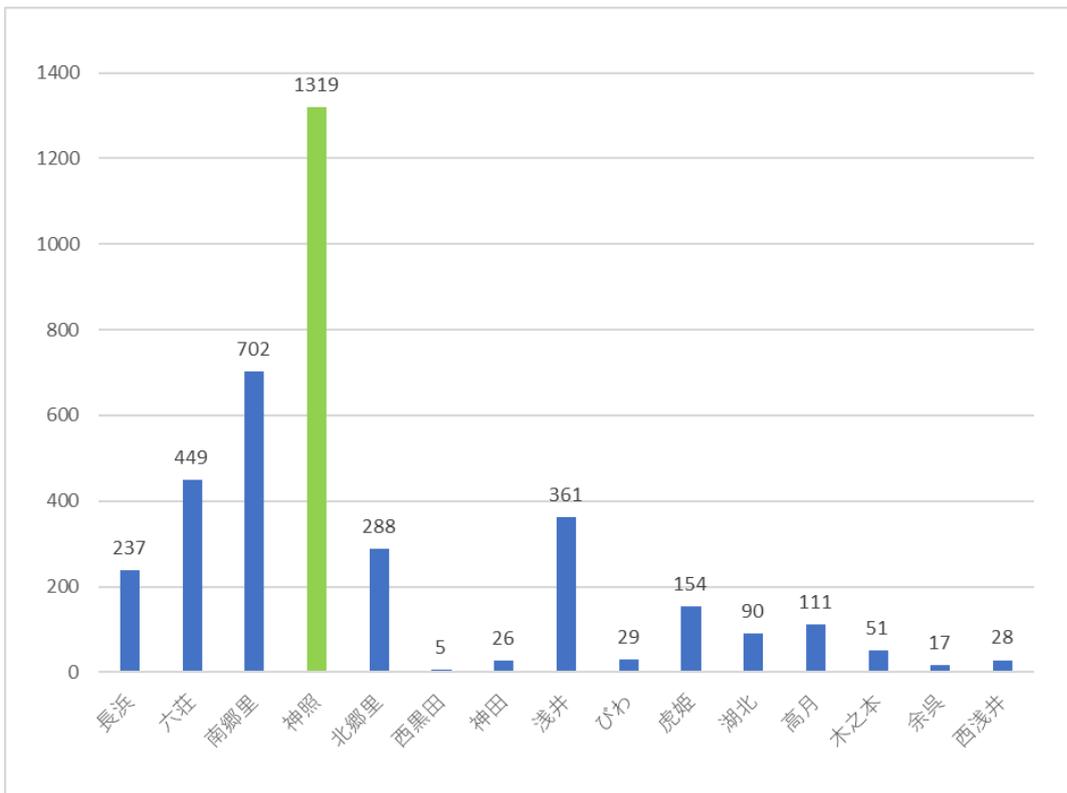


## 自治会での人口比率の比較



長浜市内でも人口増加にある神照地区では、自治会別にみても、人口・子どもの増加が多い地域と高齢化になり子どもも減少する地域に差があることが分かります。

## ■長浜市内の外国人との人口比較



R5. 3. 31 長浜市

神照地区には多くの外国人が住んでいることがわかります。

## 「神照地区地域福祉活動計画」策定に関わる福祉活動アンケート調査

### 結果

## アンケート回答数

	自治会	民生委員	福祉委員
依頼数	37	30	38
回答数	30	25	30
回答率	81%	83%	78%

## ①自治会内の交流（つながり）はどのような活動がありますか？（複数回答可）

交流活動内容		活動自治会数	
		2期	3期
子育てサロン		2	0
子ども会活動		24	26
老人会活動		21	16
高齢者サロン		13	16
サロン 実施主体	自治会	2	3
	老人会	5	3
	福祉委員	4	4
	民生委員	7	6
	その他	3	11
年中行事		24	14
運動会		2	0
文化祭		8	7

## ②自治会の（福祉的な）強み、良いところはどのようなところだと思われませんか？

（複数回答可）

項目	自治会		民生委員		福祉委員	
	2期	3期	2期	3期	2期	3期
退職世代の方が自治会活動に熱心に取り組んでいる	10	5	6	3	3	3
民生委員さんと自治会の連携がある	9	13	15	11	8	15
（高齢者・子育て）サロン活動を行っている	10	9	17	18	6	12
災害時などを想定した安否確認や避難支援の取り組みを行っている	7	16	7	7	9	11

## ③神照地区の（福祉的な）課題はどのようなことですか？（複数回答可）

項目	自治会		民生委員		福祉委員	
	2期	3期	2期	3期	2期	3期
少子化	12	20	14	11	10	11
高齢化	23	25	21	19	21	21
自治会活動などの担い手不足	17	20	14	14	11	14

自治会加入率の減少	2	2	1	0	0	0
声を掛け合える関係が薄れてきた	6	8	12	5	14	10
交流の機会の減少	6	9	8	15	8	15
災害時などの安否確認や避難支援	9	7	6	5	7	3
ひきこもり、ニートの増加	1	0	2	1	2	1

その他

- ・世帯数の増加、450 くらいあるので規模が大きすぎる
- ・各世帯の人員把握、入町者転出者の情報不足
- ・自治会活動がいやで息苦しさを感じた若者が都会へ出て行ってしまう
- ・自分のことで手一杯で他者への手が出ない
- ・アパートが増え交流の場もなく子育て支援が必要なのか一人暮らしの高齢者がおられるのか全くわからない。
- ・自治会に加入しないアパートが増え、また、アパートが社宅となって、住民票を移動していない居住者もおり、さらに、訪問しても不在で、住民の実態把握が困難である
- ・新たに入町された方の自治会活動への参加
- ・町内に広くアパート等も増加している。中には古いアパートがあり、一人での訪問は怖い

④今後（5年後くらい）自治会にはどのような取り組みが必要だと思いますか？

（複数回答可）

項 目	自治会		民生委員		福祉委員	
	2 期	3 期	2 期	3 期	2 期	3 期
子育て支援	3	2	10	9	3	6
高齢者の交流の機会作り	6	4	19	15	12	13
自治会住民の交流の機会の増加	15	12	20	14	16	17
災害時を想定した自治会ごとの取り組み	19	16	14	16	14	11
外国人との交流の機会づくり		5		8		3

その他

- ・住民台帳の IT 化
- ・自治会活動の縮小
- ・市が自治会を頼りにすること自体変える必要あり
- ・自治会の活動縮小による役員などの負担軽減への取り組み
- ・高齢者近所での見守りのしくみ、青年が地域に関わるきっかけづくり
- ・空き家対策とその活用について支援を望みます。
- ・今の開館では駐車場 もなく子どもの遊び場老人の広場、居場所もない。

⑤神照地区に求めることはどのような活動ですか？（複数回答可）

項 目	自治会		民生委員		福祉委員	
	2期	3期	2期	3期	2期	3期
比較						
地区域のつながりづくり (ひとり暮らし高齢者のお楽しみ会)	9	9	13	13	11	14
退職世代の方の自主活動支援 (神ゆうくらぶ)	5	4	12	5	7	4
地域福祉の担い手支援 (福祉委員活動支援)	9	8	18	11	7	10
地区域の意識向上 (広報紙の発行、各種研修会の開催等)	1	1	0	4	2	5
自治会のふれあいと交流の支援 (子育てや高齢者のサロン活動支援等)	10	3	15	12	9	12
災害時等を想定した取り組み (防災福祉マップ、命のバトン等)	16	12	8	12	14	10
連合自治会、地域づくり協議会、民児協、地区社協の連携強化	3	4	16	3	1	2

⑥日ごろの自治会活動の中で、課題や感じておられることがあれば、どのようなことでも

### 自治会長の声

- ① 土地開発が旺盛な自治会の仕事は増えている。役員の負担が大きく、役員のなり手がいない。役員任期が1年で長期的な計画を立てるのが難しい。  
新しい住宅団地の住民と元々暮らす住民との間で一体感が生まれるか心配である。
- ② 過疎化の進む自治会は、活動が縮小し、地域づくりの行事への参加もできなくなる。役員のなり手もいなくなる。
- ③これまで自治会は男性が担ってきたが、女性の役員も考える中、女性も参加しやすい自治会を作っていく必要がある。
- ④若者の自治会離れがすすんでいる。神社・寺の活動、自治会活動がだんだん縮小していく、若者に魅力ある自治会をどのように創っていくのか。
- ⑤外国人住民との交流をどのようにしていくかも課題

### 福祉委員の声

- ①コロナで「サロン」「体操」「防災訓練」「老人会活動」などが中止となったことは残念、早い復活が望まれる。
- ②子ども、高齢者の見守りは自治会みんなで行っていくことが必要。
- ③以前は自治会活動の後、食事会等があり交流の場があったが、最近は行事が終われば解散。ますます疎遠になってしまう。
- ④福祉委員が自治会で1人では大変である、組ごとにおいてはどうか。
- ⑤未来を担う学生や青年が地域活動の中に入っていない、このような状況では自治会等をつないでいくことが難しくなる。
- ⑥つながりがなくなると災害時など支援を必要とする人への対応が遅れてしまう。
- ⑦地域で活動しているボランティア団体やNPO法人などとの普段からの連携が必要でないか。

### 民生委員の声

- ①高齢者が増え、どのように支えあっていくか、見守りをどうするのか課題。
- ②しょうがい者が増える中、支援の仕方が分からない。
- ③地域の中で民生委員の活動を知らない人もいる。福祉に関心のある人も少ない。
- ④地域住民が抱えている課題も複合化し、解決に時間がかかるとより困難になる。  
どこにつなげばよいか分からない場合がある。
- ⑤自助・互助・共助ができる地域と居場所づくりが必要。
- ⑥高齢者世帯で入所や入院などで急に連絡が取れない場合があり困ることがある。
- ⑦自治会がない地区や加入していない世帯などもあり、つながりをつくるのが難しい。
- ⑧自治会内での民生委員のなり手不足で、仕事をもつての民生委員活動は十分に答えられない。